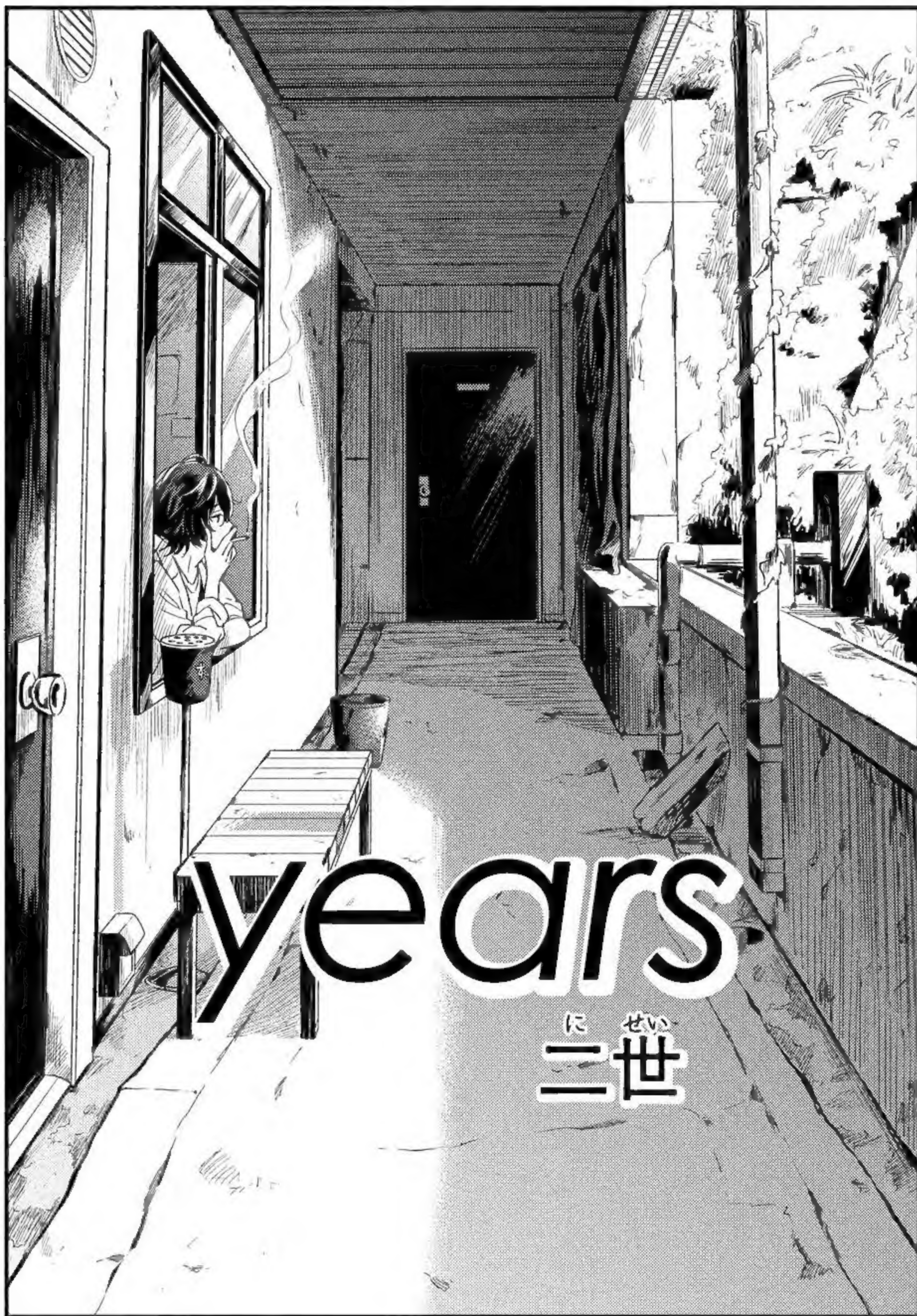


大切なものを、
取り戻すための物語。

years

に せい
二世



写真部

歩
あゆむ

部室で
吸うなって
言ったらろ

体は外
出てますよ
ほら

ったく


定時制
なんだから
夕方からゆるっと
登校すれば
いいのに

ちよつと
プリントしてみたい
ネガがあつて


顧問が
そんなこと言つて
いいんですか？

お前が熱心な生徒で
よかったよ
これで万が一
新入部員が増えても
オレは楽できる






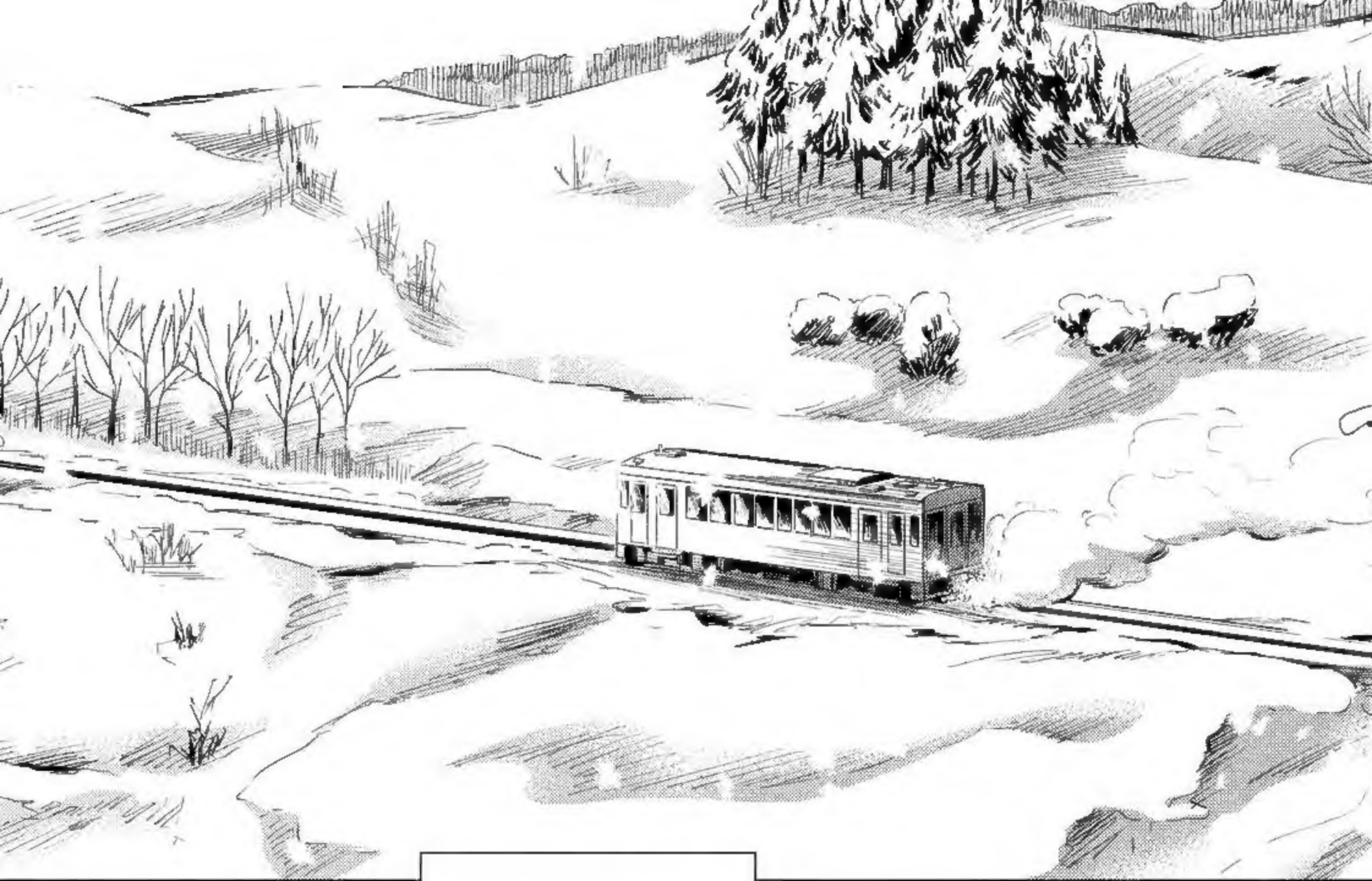
中学1年の冬
オレは母さんの実家の
北海道へやって来た



ばあちゃんの家は
市内の駅から
電車で1時間ほどの
小さな町にある



オレはこの町で生まれ
3歳の頃母さんと
東京に引っ越したと
聞かされている



だから見渡す限りの
白銀の世界を
この目で見たのは
ほとんどはじめてだった

ここでのことは
幼すぎて
よく覚えていない

その日は
じいちゃんの
十三回忌だった



ななちゃん
手伝い
ありがとね

6



あとは
母さんが
やっておくから

ふたりの布団
2階に敷いて
おいたからね



母さん…

ん？

今日は
ゆっくり
休みたい

東京から
長旅で
疲れたでしょ



華^{はな}に何て
言われたと思う？
『お姉ちゃんの子は
ろくにあいさつも
できないんだね』って



私もう
疲れた

仕事のことがい？
ななちゃんは昔から
頑張り屋だからね

違う
歩^{あきむ}のこと
前から話してる
でしょ？



そうかい？ ちやーんと
お辞儀しとったけどね
華ちゃんは昔から
気が強い
からねえ

立派に働いて
子育てしてる
お姉ちゃんに
ヤキモチ
焼いてるのよ

立派？
どこがよ



恥ずかしさで
死ねるわ…

底辺じゃん



ななちゃん



シングルマザーな上に
子供は不登校で
他人だけじゃなくて
親ともろくに
口きけないのに？

あの子ができてから
私の人生設計
めちゃくちやよ

同期はみんな
とっくに出世するか
専業主婦やってる

誰と…

何と
比べてるんだい？

何って

世間よ！

話になんない
母さんは
昔からそう！

いつだって
他人事
なのよ！

そうかも
しれんね…


ねえななちゃん
仕事辞めて
こっちで3人で
暮らさないかい？

ほら！
私の気持ちなんて
これっぽっちも
理解してない！


いいわよね
田舎暮らしの
農家はのんきで

一度も社会に
出たことのない
母さんには
わからないよ！


東京から
離れられるわけ
ないでしょ




朝目を覚ますと
母さんがいなかった



置いていかれた
ことにすぐに
気がついた



不思議と
涙は
出なかった



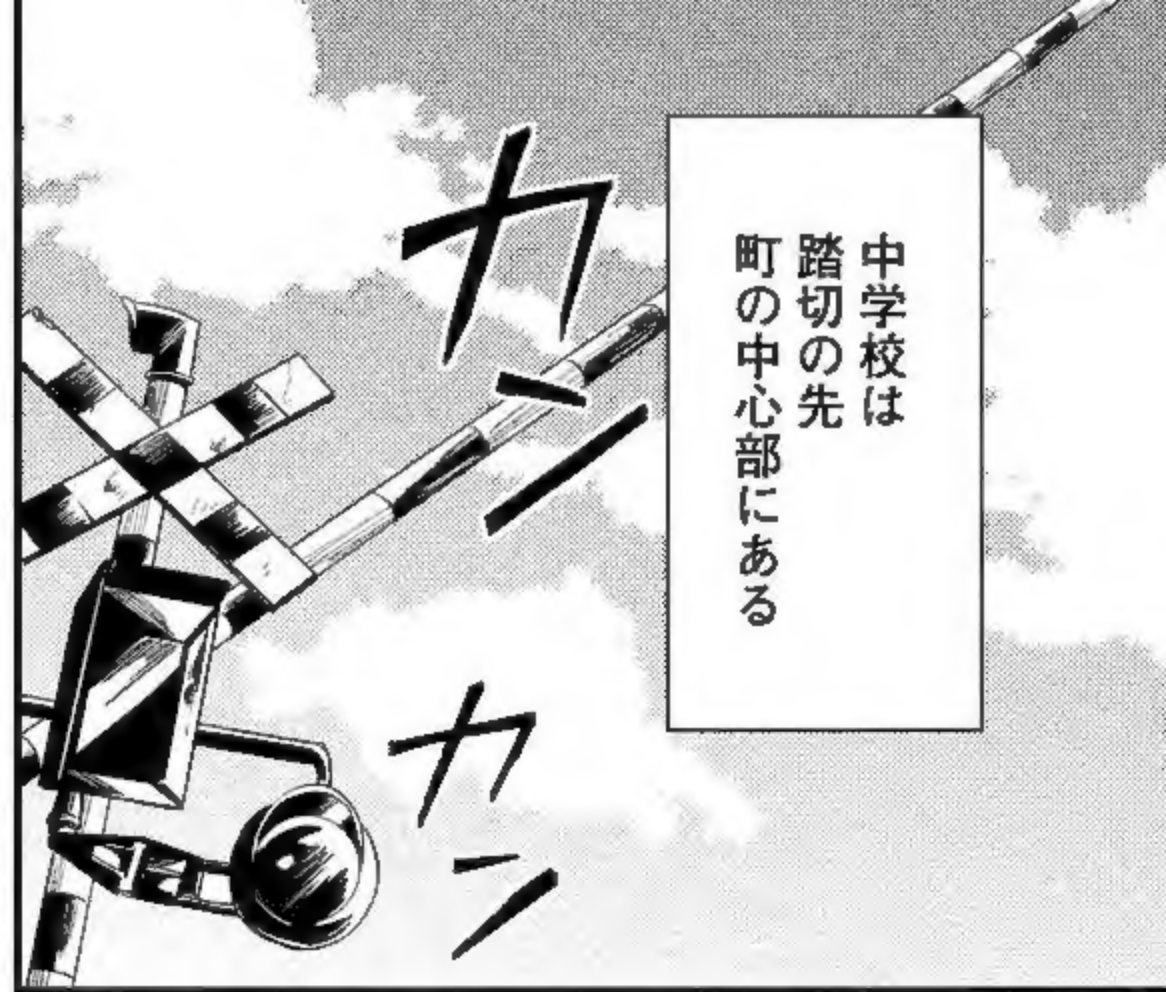
母さんとはあちゃんの間で
どんなやり取りが
あったのかは知らない

オレはその日から
ばあちゃんの家で
暮らすことになった

春からはこの町の中学に
通うことが決まった



転校初日
オレは



中学校は
踏切の先
町の中心部にある



それを
越えられなかった



その場で吐いた



嫌な記憶に酔って



歩ちゃん！

学校から家に
連絡がいったのか
ばあちゃんが
迎えにきてくれた

ばあちゃんの手は
畑仕事の泥が
ついたままだった

ゆっくり
ゆっくりで
いいんよ

ゆっくり

ゆっくりね

風の音が
気持ちいい…

秋になり
ばあちゃんの仕事を
手伝うようになった

学校へは
定期考査以外
行かなかった



ジョーが鳴いてる
お腹すいたのかな?



あらよく
聞こえるねえ

歩ちゃん
耳がいいんだね



それで
いろんなことに
すぐ気がつくのね



そっか



東京にいた頃は
外に出るといつも
耳が痛かった...

また鳴いてる...



月日が流れ
じいちゃんの
十七回忌

当然だけど
母さんは
帰ってこなかった

歩ちゃん

ばあちゃんの
手伝いを続けた

オレは高校へ
進学せず

そう？
手伝い
ありがとうね

今日はお客さん
いっぱい
疲れたでしょ

ううん
平気

じいちゃんのこと
写真でしか
知らないん
だよな…

じいちゃんが
使ってた
カメラ

歩ちゃんに
いいものあげる

ん？

ふふふ
じいちゃんの
部屋を掃除
してたら
出てきたの

歩ちゃん（あゆみ）が
1歳くらいの
頃まで

これでよく
写真撮ってたのよ

そのあとすぐ
病気になっちゃ
ってね

この辺だと
冬の間のやること
なくて退屈
でしょう？

歩ちゃん（あゆみ）が
使ってくれたら
じいちゃん
きっと喜ぶわ

使いさしのフィルム
入ってるから
そのまま撮れると
思うわよ

本当だ
1枚…？
撮ってある

じいちゃんよく
言ってたわ

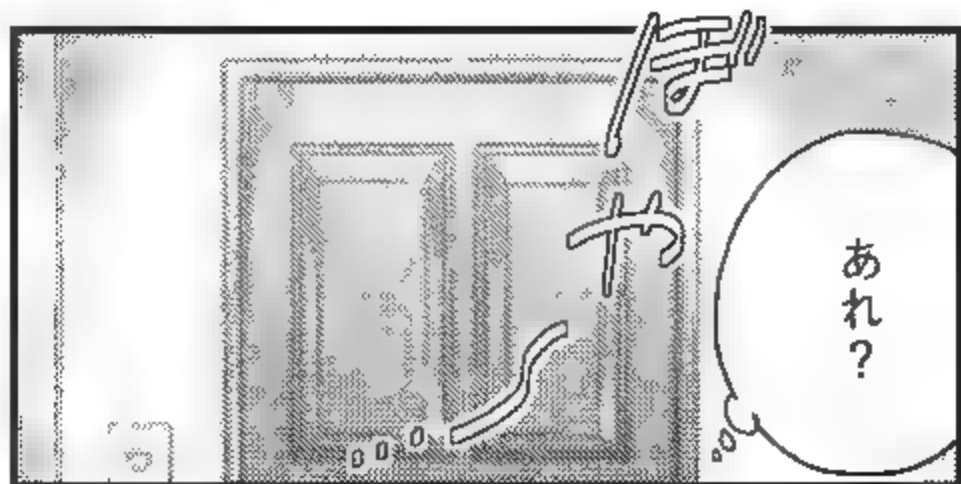
人の脳みそは
忘れっぽいから

せつかくの
いい思い出も
すぐ忘れちゃう
って

だから
写真に撮って
残しておくんだって

これでフィルムを
巻き上げて
シャッターを
切るのか

説明書が
あって
良かった…



15





越えた……！

その日を境に
オレは毎日
カメラを持って
外に出かけた

最初に
撮り終えたフィルムは
記念に「1」と書いて

いつか自分の手で
現像すると決めた



シャッターを
切るたびに
もっと外の世界を
見てみたくなった

はい
これ



歩ちゃん
が今まで手伝って
くれたぶんの
お給料
貯金してたの

いって
らっしゃい

雪が溶けた頃
オレははじめて
パスポートをとって
旅に出た



はじめはフィリピンの
イングリッシュスクールに
1ヵ月通うことにした

3つ年上の
泉美昂さん

宿舎は2人部屋で
ルームメイト
だったのが

16のとき
カナダからメキシコまで
バックパックで
一人旅したんだけど

そのときのオレ
ぜんっぜん
英語しゃべれなくてさー

東京にある
服飾の学校を
休学して
こっちにきたらしい

死にかけたから
今回は少し
勉強する
ことにしたの

あはははは

何が
あったん
だろう

へえ……

そっか
次に行く国
決めてねーのか

じゃあさ
オレと一緒に
旅してみる？

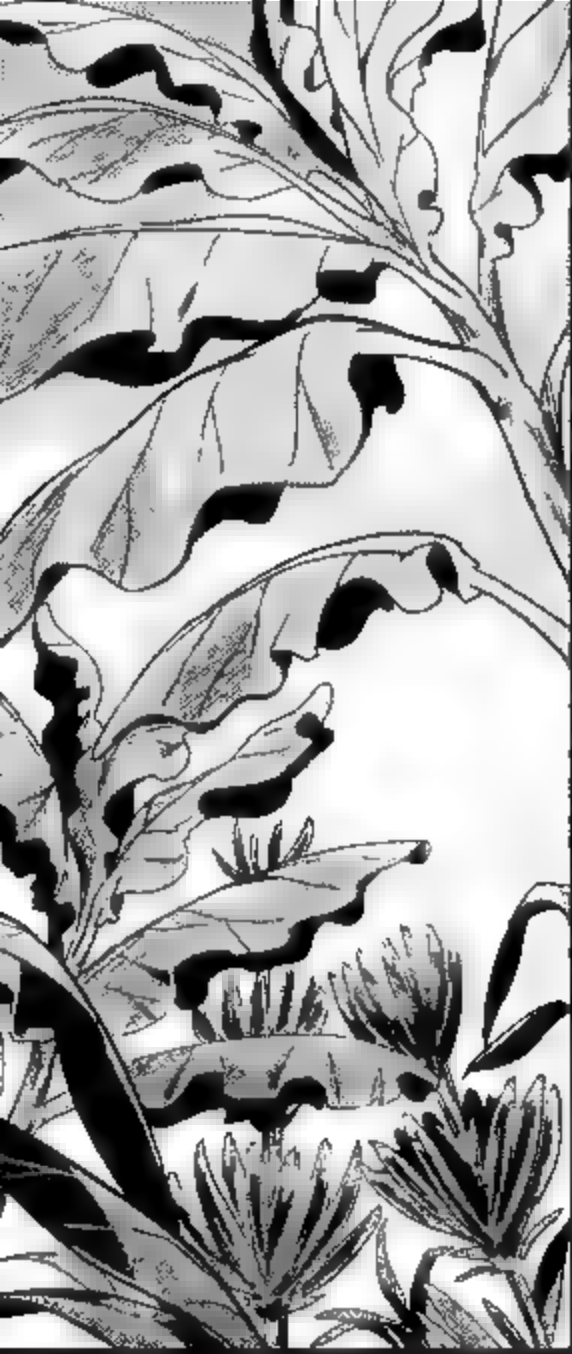
まずは
パプアニューギニア！

すごいオシャレで
カッケー民族
会ってみたいくない？

ぱ？

パプ……？

えっ



その後も
オーストラリア
東南アジア・インドを
ふたりで旅した

昂さん

アフリカ方面へ行く
昂さんとは
イスタンブールで別れた

オレばあちゃん
以外の人とこんなに
長い間一緒にいたの
初めてなんです

友達が
できたみたいで
嬉しかった

ありがとう

日本で
また会おうな

これからも
ずっと
オレらは友達！

バカか
お前は！

一人旅は
ギリシャから
はじまった

イタリ^{イタリア}アへ入り
東欧^{とうおう}を巡^{めぐ}った

貯金の残高が
気になり始めた頃
ロンドンに渡るか
決めかねてたオレは

いいんですか?

英語だ...
パリのカフェで
ブドウ農家の
夫婦に出会った

もちろんだよ!

収穫の手伝いを
しながら

ホームステイ
させてもらう
ことになった

ランチに
しましょう

しばらくたての
ブドウジュース!

アユ!

俺にはこういう
場所が合っている

伝統的な建築物や
大きなビルの街並みより

気がつけば
もう12月



ノエル?





クリスマス・イヴ前日
思い出をたくさん
背負って
パリを発った



ただいま
ばあちゃん!



若い子で
フィルムの特徴
持ってくる子
久々だよ

フォトスタジオ
前川写真館

最近
デジカメでしょ？

うちの倅も
アナログが好きでね

高校で
写真部の
顧問やってるよ

写真部…

オレが高校を
受験する
きっかけになった

1年間の
猛勉強の末

歩ちゃん
撮るわよ

うん

定時制に
無事合格

入学してからは
写真部に
入り浸っていた

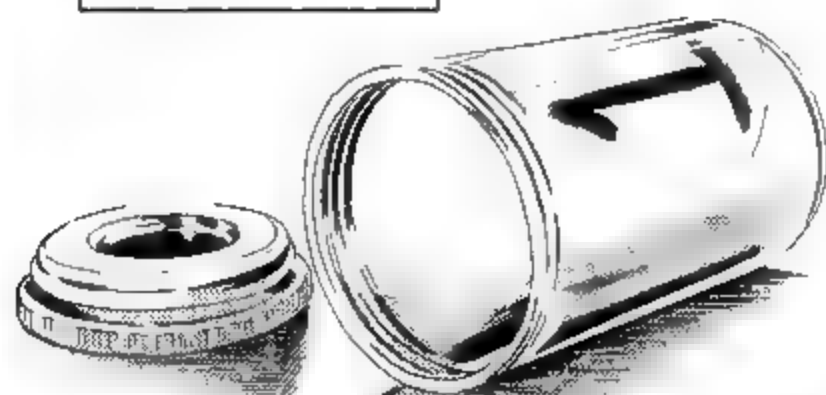
そして今年の冬
成人式を迎えた

現在
高2の夏

東京へ行く前に
たしかめておきたい
ことがあって

はじめて撮った
大切なネガを
プリントすることに
した

なぜなら
小さなコマに
見覚えのある
人を見つけたから



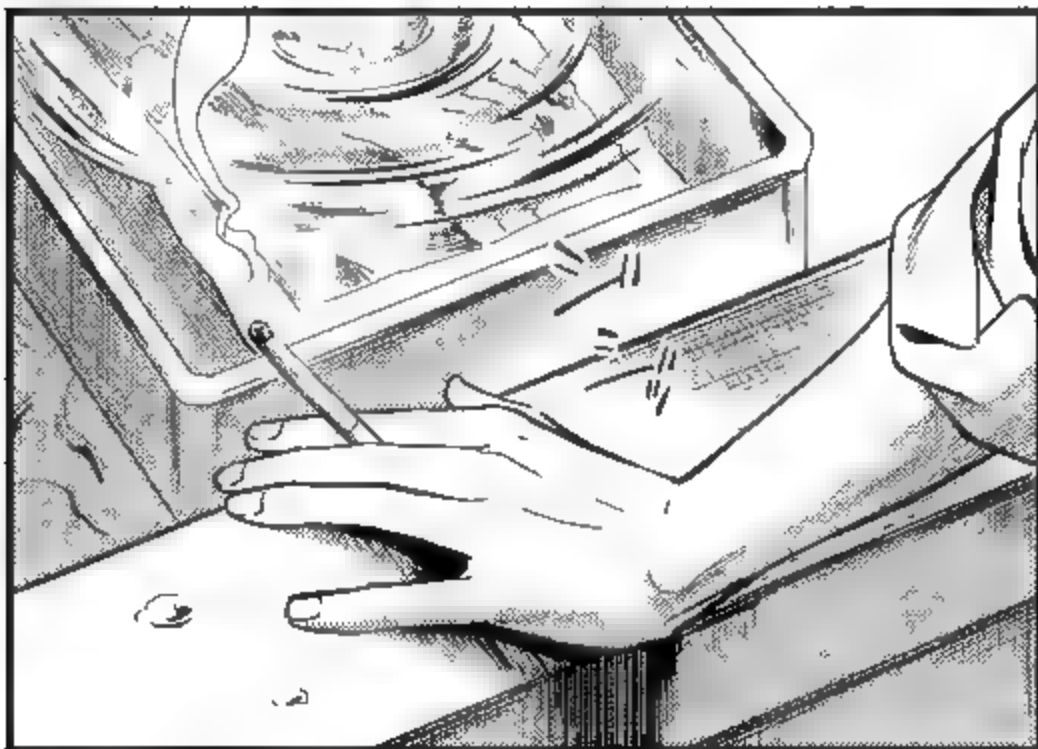
じいちゃんが撮った
1枚目のコマだ

ばあちゃん家の
庭だ…





26



一度も愛された
ことがないと



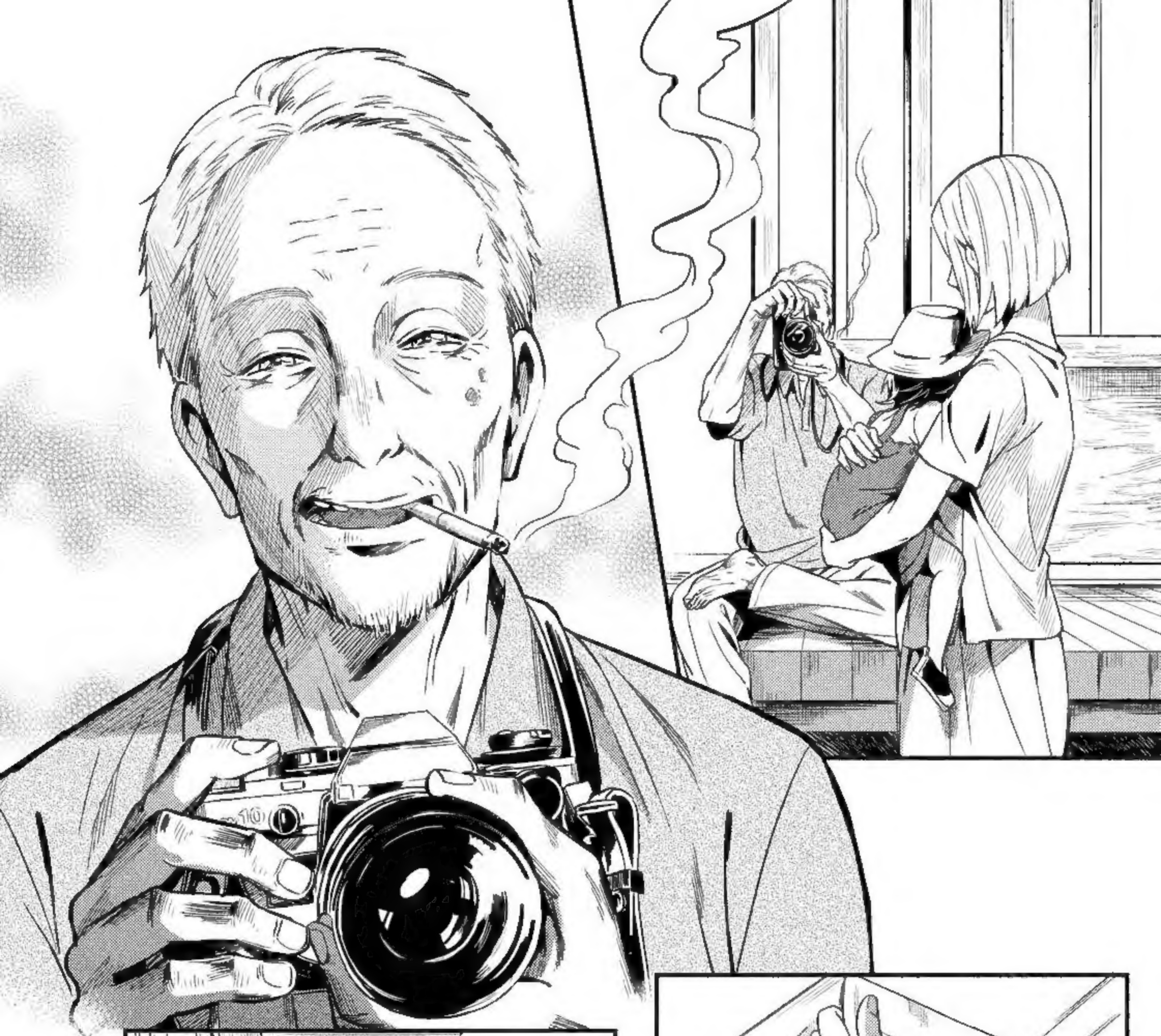
なんで
忘れちゃうん
だろう



生まれた瞬間から
憎まれてたと思っていた

オレはあのとき
たしかに
愛されていた







オレ……
大きくなったよ



それだけを
伝える

この夏
東京へ行く



今度は、胸張って。